

市民普請についてよくある質問と答え

Q. 「市民普請」って何ですか？

「普請」とは「普く請う」こと、「みなさん広く参加をお願いします」という意味です。道路をみんなで整備すれば「道普請」、川の堤防をみんなで整備すれば「川普請」となります。「市民普請」では、この意味を出発点としながら、市民が主導的役割を果たしながら、公共のために実践する様々な取り組み、を意味することとしました。

Q. なぜ今、市民普請なのですか？

日本における公共事業はトップダウン型の統制型の社会資本整備でした。安全で便利な国土の形成は進みましたが、「地域の履歴や魅力」の活用、「地域固有の課題」の克服は、十分ではなかったと考えています。土木学会では、2014年が学会創立100周年を迎えることを機会に、社会資本整備の新しい手法として「市民普請」を位置付け、地域を豊かにするお手伝いをしたいと考えたのです。

Q. 「市民普請」にどんな効果が期待できますか？

地域が元気になるだけでなく、参加した人は喜びや充足感が得られると考えています。また、参加のプロセスを通じて、人や地域に対して新しい発見が得られたり、地域に対する責任感が高まることも効果として考えられます。

Q. 市民連携の取り組みと何が違うのですか？

実施している取り組みは同じかもしれませんが、既存のトップダウン型・統制型の公共事業では実現が難しかった「地域の履歴や魅力」の活用、「地域固有の課題」の克服を図るためのボトムアップ型の社会資本整備を表す概念と考えています。

市民普請についてよくある質問と答え

Q. 「市民普請」の未来は？

「市民普請」は産声を上げたばかりです。その未来は、これからの我々の取り組みによって大きく変わって行くでしょう。2014年を「市民普請」誕生の年とし、これから育てて行く努力が必要です。

Q. 「市民普請支援事業」と「市民普請大賞」の違いは？

「市民普請支援事業」は「市民普請」を支援するために設けた事業です。2014年2月14日（金）が締め切りになりますので、奮って応募してください。詳細については、HP（<http://jsce100.com/node/89>）をご覧ください。

Q. 市民普請の具体例がわかりません

2013年6月18日（火）に「市民普請大賞ワークショップ」実施しました。その際、提案されたキーワードを参考までに示します。なお、ワークショップの詳細については、HP（<http://jsce100.com/node/11>）をご覧ください。

地域・まちづくり系 歩いて楽しい散歩道（道楽普請）、子供が安心して遊べる公園、市民農園（農園普請）、モビリティサポート、集まる場、カフェ、空き地の活用

自然系

自然再生、循環型社会、動植物との共生、まちの緑化、四季を感じる、エコ普請、土普請、川普請、雨水普請

観光・イベント系

街中アート、野外シアター、写真展、観光地づくり、お祭り普請

防災系

津波対応避難ルート普請、避難弱者のmap整備、地震・津波を想定した避難訓練、井戸普請

市民普請についてよくある質問と答え

Q. 市民普請のシンボルマークやロゴタイプにはどのような意味が込められているのですか？

市民普請のシンボルマークは、市民の主体的な活動を通じて、芽生え、育まれ、大きく成長していく【普請の心】を表現しています。

[正三角形] は、普請活動における知恵・情熱・技術を備えた【市民の個】を象徴しています。正三角形が集まった[ぶしんダイヤ] は、市民が出会い、共感し、対話の中から地域の魅力や問題点を発見、協力し合うことで公共の社会基盤づくりを担っていくという一連の活動が実を結び、広く社会で光り輝くという理想を表現しています。

正三角形の隙間に生じる[ライン] は、道・石垣・井戸・上水道・防波堤といった建設物をはじめ、地域活性化、自然環境の保護や伝統文化の継承など、【市民普請における様々な活動成果】を象徴しています。活動の広がりとともに現れるこの[ライン] は、市民普請の活動を通じて生まれた人と人とのつながりや、地域と市民が輝く姿をイメージするものです。

このロゴタイプには【普請の心】と【活動成果】を象徴する造形要素が取り入れられています。市民普請の活動成果である「公共の社会基盤」を直線的で安定感のある構成によって表現しました。また、「普請」の文字から浮き上がってくる[顔の表情] は、活動を通じて生まれた出会い・共感・対話をイメージするものです。さらに、字画のところどころに[すきま]が生じているのは、これからの活発な市民普請活動によって、これらの[すきま]をつなげ、満たしていく姿を描いています。

市民普請
SHIMIN BUSHIN
大賞

